

## 令和6年度事業活動の総括

町民一人ひとりがいつまでも住み慣れた地域で、わくわくできる「自分らしい暮らし」、安心して暮らす「穏やかな暮らし」を実現できるよう、地域住民や関係機関と連携しながら地域福祉活動の推進と福祉サービスの提供を一体的に実施した。

また、中期経営計画(令和5年度～令和9年度)に基づき、時代の変化に対応しうる、持続可能な事業の推進に取り組んだ。

### 1. 基本理念

住み慣れた地域で様々な特性を持つ住民がお互いに支え合い、自分らしく安心して暮らすことができる地域づくり、人との関わりやつながりを維持できる地域づくりを目指し、地域住民や関係機関等と連携しながら住民主体の地域福祉活動に取り組んだ。

#### 『暮らす』を支える ～これからもこの町で～

「暮らす」とは、個々が主体性をもって生きること。その中で生じるさまざまな生活課題や生きづらさを受け止め、誰もが「ふだんの 暮らしの しあわせ」を実感できる地域となるよう、持続可能な地域福祉の推進と安定した福祉サービスの提供を行う。

### 2. 基本目標

地域住民や関係機関等と連携し、多様な人々が共に安心して暮らせる「地域共生社会の実現」を目指し、次の基本目標を掲げ本会の事業推進を行った。

#### 1)地域で暮らす

いつまでも住み慣れた地域に居場所があり、様々な特性を持つ地域住民が相互に認め合い、支え合える地域共生社会の実現の推進を図った。

#### 2)自分らしく暮らす

それぞれの個性が尊重され、自身の望む暮らしが実現できるよう、当事者が孤立せず地域の一員として活躍できる包括的な支援体制の構築を図った。

#### 3)安心して暮らす

地域住民や福祉関係者が協働し、個々の暮らしのニーズに寄り添った生活支援体制の整備を図ります。また、関係機関が連携し地域課題を速やかに把握し、新たな支援策を構築できるよう連携強化を図った。

#### 4)生涯現役で暮らす

地域の一員として介護等の支援が必要となっても社会参加できる機会の確保を目指した池田らしい社会資源の創出を図ると共に、心身共に孤立をしない地域づくりの推進を図った。

## 事業報告

年月日	事業概要	場所	担当部署・参加者等
4月1日	令和6年度 辞令交付式	ほっとプラザ	会長、副会長 他
	主任会議	〃	会長、副会長 他
4月16日	町老連通常総会	ツドエル(旧開発センター)	会長
4月24日	遺族会役員会(監査)	ほっとプラザ	会長
5月10日	婦人福祉会総会	ツドエル(旧開発センター)	会長
	デイサービス避難訓練	ほっとプラザ	
5月21日	ハラスメント防止委員会(第1回)	ほっとプラザ	担当委員
5月22日	生保受給者等自立促進会議	越前市	事務局長
	BCP・感染症対策委員会(第1回)	ほっとプラザ	担当委員
5月29日	令和5年度会計監査	〃	会長、副会長 他
	虐待防止・身体拘束適正化委員会(第1回)	〃	担当委員
5月30日	市町社会福祉協議会事務局長会議(第1回)	県社協	事務局長
	県市町社協会長会総会	〃	会長
6月3日	主任会議	ほっとプラザ	会長、副会長、事務局長 他
6月14日	社協広報誌『ねまーる新聞(26号)発行		
6月17日	池田町社協理事会(令和5年度決算)	〃	会長、副会長、常務理事、他
6月20日	県共同募金会評議員会(第1回)	県共募	会長
6月21日	健楽会評議員会	福井市	会長
6月24日	池田町社協定時評議員会(令和5年度決算)	〃	会長、副会長 他
6月26日～7月4日	寝具洗濯サービス(73件222枚)	上地区	
6月26日	県社協定時評議員会	県社協	会長
7月11日	家事関係機関連絡会	福井裁判所	事務局長
7月12日	ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会	福井市	事務局長
7月10日～7月18日	寝具洗濯サービス(63件192枚)	下地区	
7月22日	池田町民児協視察同行	富山県 黒部市社協	事務局長
7月27日	能登半島地震復興支援ボランティア(県社協主催)	石川県 輪島市	事務局長
8月5日	主任会議	ほっとプラザ	会長、副会長、事務局長 他
8月6日	生活困窮者支援体制検討会	〃	事務局長、石丸
8月7日	町戦没者追悼式	文化交流会館	会長、事務局
8月19日	県共同募金会評議員会(第2回)	県共募	会長
8月21日	トップセミナー	県社協	会長
8月24日	県戦没者追悼式	サンドーム福井	会長
8月28日～8月30日	福井県立大学社会福祉学科フィールドワーク受け入れ	町内各所	
9月4日	国民健康保険運営協議会	ツドエル(旧開発センター)	会長
	介護保険運営協議会	〃	会長、事務局長
9月13日	福井県立大学社会福祉学科フィールドワーク成果報告会	〃	会長、副会長 他
9月17日～10月28日	福井県立大学ソーシャルワーク実習受け入れ	ほっとプラザ	
9月24日	池田中学校福祉教育(介護講座)	池田中学校	事務局長 他
	虐待防止・身体拘束適正化委員会(第2回)	ほっとプラザ	担当委員
10月7日	主任会議	〃	会長、副会長、事務局長 他
10月15日	社協広報誌『ねまーる新聞(27号)発行		
10月17日	ハラスメント防止委員会(第2回)	ほっとプラザ	担当委員
10月26日	県福祉大会	ユーアイふくい	会長 他

年月日	事業概要	場所	担当部署・参加者等
11月8日	法人監査	〃	会長、事務局長
11月14日	デイサービス米寿のお祝い	〃	会長、副会長、常務 他
11月21日	BCP計画に基づく初動連絡訓練	ほっとプラザ	正職、嘱託職員
	ほっとプラザ合同避難訓練	〃	全職員
11月26日～27日	東海北陸ブロック社協職員研修集会	福井市	事務局長、宮下
11月29日	県共同募金会評議員会	県共募	会長
12月2日	主任会議	ほっとプラザ	会長、副会長、事務局長 他
	町長との懇談会	池田町役場	会長、副会長
12月5日	岐阜県池田町地区社協受入れ	ほっとプラザ	会長、事務局長
12月20日	市町社会福祉協議会事務局長会議(第2回)	オンライン	事務局長
12月24日	県社協評議員会	県社協	会長
【令和7年】			
1月24日	福井県立大学ソーシャルワーク実習報告会	オンライン	事務局長
2月3日	主任会議	ほっとプラザ	会長、副会長、事務局長 他
2月10日	社協広報誌『ねまーる新聞(28号)発行		
2月12日	生活困窮者支援体制検討会	ほっとプラザ	事務局長、石丸
2月13日	国民健康保険運営協議会	〃	会長
	越前警察署犯罪被害者支援ネットワーク総会	武生文化センター	事務局長
2月18日	BCP・感染症対策委員会(第2回)	ほっとプラザ	担当委員
2月19日	介護保険運営協議会	〃	会長、事務局長
2月21日	子ども福祉委員(ミライレンジャー)任命式	池田小学校	会長、副会長 他
2月26日	在宅介護者のつどい	冠荘	会長、事務局、居宅 他
2月27日	ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会	オンライン	事務局長
3月7日	富山県社協福祉教育セミナー実践報告	富山県 富山市	〃
3月10日	市町社会福祉協議会事務局長会議	オンライン	事務局長
3月14日	副町長との懇談	池田町役場	会長、事務局長、県社協
3月17日	池田町社協理事会(令和7年度予算)	ほっとプラザ	会長、副会長、常務 他
3月21日	県社協評議員会	県社協	会長
3月24日	県共同募金会評議員会	県共募	会長
3月27日	池田町社協評議員会(令和7年度予算)	〃	会長、副会長 他

通年にて実施	* 子ども福祉委員活動・・・池田小学校(5年生)を対象に6月～2月までの計20回実施
	* 毎月第2木曜日・・・心配ごと相談日(6月、9月、12月、3月 年4回:無料法律相談日)
	* 毎月第3木曜日・・・結婚相談日
	* 毎週月曜日・・・月曜サロン(角間地区)開催
	* 毎週火曜日・・・火曜サロン(中地区、下池田地区)開催
	* 毎週木曜日・・・木曜サロン(水海、下地区)開催
	* 毎週金曜日・・・ひよっこりカフェ開催
	* 毎月第3木曜日・・・ひよっこり茶屋(角間郷地区)開催
	* 毎月第4月曜日・・・ひよっこり茶屋(下池田地区)開催
	* 給食サービス・・・年16回実施(うち、会食会1回)
	* 民生委員・児童委員定例会出席・・・毎月1回(事務局長)
	* 幸寿苑グループホーム、小規模多機能運営会議出席・・・奇数月開催(事務局長)
	* 各福祉団体育成・指導(4団体:町老連、婦人福祉会、遺族会、身障協会)

## I 地域福祉事業活動実績

### ≪ 基本方針 ≫

社協としての社会的使命を果たし、安定した事業運営およびサービスの提供を継続するための組織・経営基盤の強化を図ると共に、事業の展開にあたり「連携・協働の場(プラットフォーム)」としての役割を十分に発揮し、地域住民や関係機関・団体等、あらゆる関係者の参加と協働を図った。

### ≪ 目 標 ≫

#### 1) 積極的な情報発信と共有

地域に開かれた組織として、地域での活動や活動に取り組んでいる人、場所に焦点をあて、地域活動への関心と理解を深めるための積極的な情報提供を実施した。

#### 2) 地域ぐるみで関わる“ふくし共育”の推進

世代を超えて地域住民や関係機関が協働し、自分たちの暮らす地域の未来を考え、育む住民主体による「ふだんのくらしのしあわせを共に考える我が町育て(ふくし共育)」の推進を図った。

### ≪ 事業実績 ≫

- 1) ふれあいサロン事業
- 2) おうちdeサロン
- 3) 地域交流拠点拡充事業(ひよっこりカフェ、ひよっこり茶屋)
- 4) 給食サービス事業
- 5) 地域ぐるみ福祉教育事業(子ども福祉員“ミライレンジャー”活動)
- 6) 地域共生社会推進事業(池田の未来のこし隊“雪国暮らし虎の巻”活動)
- 7) 地域共生型プラットフォーム整備事業(よっこら農縁)
- 8) 県社協 委託事業
  - ① 日常生活自立支援(福祉サービス利用援助事業)
  - ② 生活福祉資金貸付事業

1) ふれあいサロン事業(町委託事業:池田町介護予防・生きがい活動支援事業)

\* 事業目的

- ・生きがい活動を通じて仲間づくりの場
- ・心身機能の維持向上による介護予防の場
- ・地域の中での孤独感(孤立感)の解消を図る場

\* 実施内容

対象地区	実施日	会場	運営協力
月曜サロン(角間郷地区)	毎週月曜日	ほっとプラザ	サロン担当1名
火曜サロン(中地区・下池田)	毎週火曜日	ほっとプラザ	サロン担当1名
木曜サロン(下地区・水海地区)	毎週木曜日	ほっとプラザ	サロン担当1名
谷口サロン(谷口区:4月末で終了)	第2火曜日	谷口集落センター	福祉推進員1名、職員1名
寺島サロン(寺島区)	第4金曜日	寺島集落センター	福祉推進員1名、職員1名
山田サロン(山田区)	第2金曜日	山田集落センター	福祉推進員1名、地区女性部

\* 月別実績

月	実施回数		参加者数		平均利用者数/月		内容等
	日	前年比(日)	人	前年比(人)	人	前年比(人)	
4月	16	0	98	4	6.1	0.2	手工芸、レクリエーション
5月	15	△2	99	△11	6.6	0.1	手工芸、レクリエーション
6月	14	△1	87	△14	6.2	△0.5	手工芸、レクリエーション
7月	16	1	98	1	6.1	△0.4	手工芸、レクリエーション
8月	14	△1	91	6	6.5	0.8	手工芸、レクリエーション
9月	13	△1	81	1	6.2	0.5	手工芸、レクリエーション
10月	14	△2	101	6	7.2	1.3	手工芸、レクリエーション
11月	14	△1	88	3	6.3	0.6	手工芸、レクリエーション
12月	14	3	89	22	6.4	0.3	手工芸、レクリエーション
1月	13	1	84	18	6.5	1.0	手工芸、レクリエーション
2月	10	△5	60	△21	6.0	0.6	手工芸、レクリエーション
3月	15	0	99	14	6.6	0.9	手工芸、レクリエーション
年間数(計)	168	△8	1,075	29	6.4	0.5	
(5年度)	176		1046		5.9		



音楽療法の様子(レクリエーション)



開通した冠山トンネルを通過して岐阜県まで遠足へ

## 2) おうちdeサロン

### \* 事業目的

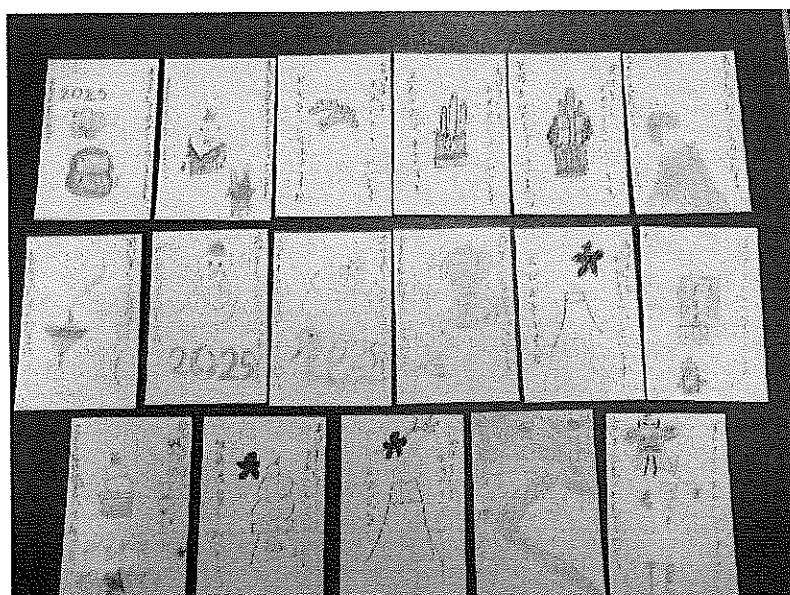
- ・社会参加の機会維持
- ・在宅での介護予防活動、生きがい作り活動

### \* 実施内容

- ・毎月1～2回、脳トレクイズ等を利用者へ送付。返信用のハガキを同封し、利用者の方にクイズの回答を社協まで送り返して頂く。
- ・社協に返送された回答ハガキは、クイズの答え合わせし、職員のコメントを添えて次回の郵送物と一緒に利用者の方に返送する形式をとり、相互交流を行った。

### \* 月別実績

月	実施回数	送付総数(人)	返送(回答)数		内容等
			(人)	返送率(%)	
4月	0	0	0	0.0	脳トレクイズ
5月	1	43	38	88.4	脳トレクイズ
6月	1	43	40	93.0	脳トレクイズ
7月	1	43	39	90.7	脳トレクイズ
8月	1	42	39	92.9	脳トレクイズ
9月	1	42	38	90.5	脳トレクイズ
10月	1	42	40	95.2	脳トレクイズ
11月	1	42	38	90.5	脳トレクイズ
12月	1	43	38	88.4	脳トレクイズ
1月	1	43	33	76.7	脳トレクイズ
2月	1	43	38	88.4	脳トレクイズ
3月	1	43	40	93.0	脳トレクイズ
年間数(計)	11	469	421	89.8	
(5年度)	15	682	598	87.7	



参加者の皆さんへ小学生からの年賀状を送付

3) 地域交流拠点拡充事業(ひよっこりカフェ(常設型)、ひよっこり茶屋(出張型))

\* 事業目的

- ・高齢者から子供まで世代を超えた新たな出会いやつながり作りの場(多世代の交流の機会づくり)
- ・だれもが気軽に集え、自分らしい居場所(居心地の良い空間(場))を見つけられる機会づくりの場
- ・新たな介護事業(総合事業)による高齢者等の介護予防拠点づくり
- ・アウトリーチによる暮らしの困りごと(ニーズ)の把握および相談窓口機能の強化

\* 実施内容

- ・参加者によるセルフカフェや会食会(軽食)による地域交流の促進を提供。
- ・レクリエーションや行政と連携したウオーキング(介護予防活動)、発酵食品を取り入れたスイーツ(脳べる改革事業)を提供。
- ・生活の中での困りごとや健康、介護に関する相談など、身近な場所での相談・支援を提供

\* 月別実績

	ひよっこりカフェ		ひよっこり茶屋(角間地区)		ひよっこり茶屋(松ヶ谷)		運営協力者 (延べ)	備考
	人数	回数	人数	回数	人数	回数		
4月	104	4	32	1	8	1	18	
5月	115	4	38	1	7	1	19	
6月	122	4	会場都合の為中止		10	1	13	
7月	137	4	31	1	9	1	16	
8月	140	5	32	1	9	1	21	
9月	131	4	34	1	10	1	19	
10月	127	4	35	1	10	1	21	
11月	175	5	31	1	10	1	21	
12月	137	4	34	1	10	1	20	
1月	141	4	29	1	8	1	18	
2月	122	3	雪の為中止		9	1	12	
3月	157	4	33	1	8	1	22	
計	1,608	49	329	10	108	12	220	0
平均利用者数/回	32.8人/回		32.9人/回		9人/回		3.1人/回	

	実施回数		延べ参加者数		平均利用者数/回		延べ運営協力者数	
	回	前年比(回)	人	前年比(人)	人	前年比(人)	人	前年比
6年度	71	1	2,045	122	28.8	1.3	220	△1
(5年度)	70回		1,923人		27.5人/回		221人	



角間地区ひよっこり茶屋(成年後見制度について)



下池田地区ひよっこり茶屋(音楽療法)

#### 4) 給食サービス事業(町委託事業:給食サービス)

**\* 事業目的**

- ・対 象…一人暮らし又は二人暮らし高齢者(見守りが必要であると民生委員が判断し、申請された方)
- ・内 容…年間16回、ボランティアによる手作り弁当を対象者に届ける
- ・料 金…無 料(町委託料および赤い羽根共同募金助成金により実施)
- ・協力者…民生委員協議会(5回)、JAにじ会(2回)、日赤奉仕団(2回)、婦人福祉協議会(5回)  
池田の未来のこし隊(若手ボランティアグループ):2回
- ・登録者…38名 (令和7年3月31日現在)

**\* 実施内容**

- ・今年度も、感染防止対策としてボランティア団体等による手作り弁当を中止し、業者に依頼した弁当の配達のみ協力者へ依頼し、事業を実施をおこなった。
- ・また、配達の際も、玄関先での受け渡しや、マスクの着用等の感染防止対策を講じながら実施するなど、利用者および協力者の安全確保に努めた。

**\* 月別実績**

月	実施回数		利用者数		平均利用者数/回		協力者数	備 考
	回	前年比(回)	人	前年比(人)	人	前年比(人)		
4月	1	0	38	△1	38.0	△1.0	6	夕食
5月	2	0	79	△1	39.5	△0.5	18	夕食
6月	2	0	86	9	43.0	4.5	21	夕食
7月		0		0				
8月								
9月	2	0	84	7	42.0	3.5	18	夕食
10月	1	0	41	5	41.0	5.0	9	夕食
11月	2	0	79	11	39.5	5.5	26	夕食
12月	2	0	67	14	33.5	7.0	20	夕食
1月	1	0	32	5	32.0	5.0	6	夕食
2月	2	0	64	8	32.0	4.0	18	夕食
3月	1	0	31	1	31.0	1.0	10	夕食
年間数(計)	16	0	601	58	37.6	3.7	152	
(令和5年度)	16		543		33.9		148	



若手ボランティアによる配達



よっから農縁で収穫した野菜を使ったお弁当

## 5) 地域ぐるみ福祉教育事業(子ども福祉委員『ミライレンジャー』活動)

### \* 事業目的

- ・子ども達を中心とした地域全体への福祉教育の場および地域を担う人材の育成活動
- ・協働による体験を通じた地域ぐるみでの新たなつながり作りの場づくり
- ・福祉への関心を高め、子どもを含めた地域住民の”共に生きる力(地域共生社会)”を育てていく

### \* 実施内容

- ・対 象・・・池田小学校 5年生(6名)、池田中学校1年生(8名)、3年生(21名)、なかよし子ども園
- ・内 容・・・地域での福祉活動を通じ、自分たちの地域を知ると共に人とのつながりの大切さを知る
- ・協力者・・・町内各種団体、個人 等(池田の未来のこし隊として参加)
- ・実施回数・・・池田小学校 21回、池田中学校 2回(1年生:ミライレンジャー任命式 3年生:介助講座)  
なかよし子ども園(年長児) 5回

《池田小学校5年生 子ども福祉員(ミライレンジャー)活動》



《池田中学校 1年生:任命式で小学生をサポート(左)、3年生:介助講座(右)》



《なかよし子ども園(年長児) デイサービス訪問による高齢者との交流》



## 6)地域共生社会推進事業(池田の未来のこし隊「雪国暮らし虎の巻」活動)

### \* 事業目的

- ・世代を超え、協働による体験を通じた新たなつながり作りの場
- ・地域住民としての役割を担い、町民としての自信と誇りを育む機会づくり

### \* 実施内容

- ・対 象・・・全町民
- ・内 容・・・ 地域に残る先人達からの暮らしの知恵を学ぶことを目的に、地域住民が講師となり、若い世代や他の地域の方との協働により新たなつながり作りを推進する。  
また、地域住民として講師を担うことで、町民としての自信と誇りを育む機会とする。
- ・協力者・・・町内各種団体、個人 等
- ・実施回数・・・実績なし

## 7) 地域共生型プラットフォーム整備(よっこら農縁)事業

### \* 事業目的

- ・当事者と地域住民等との協働作業による社会参加機会の確保
- ・制度の枠を超えた柔軟な個別支援の提供(生活困窮、就労、ひきこもり等支援)
- ・地域の福祉分野以外の機関とも連携した新たな社会資源の創出

### \* 実施内容

- ・介護サービスの利用等により農作業から離れてしまった高齢者が今までの経験やできる部分を分担し、今一度農業に従事することで、社会参加・地域での役割を維持。
- ・高齢者の活動の補助として、生活困窮者や精神疾患等を抱える当事者が一緒に活動することで、制度の枠を超えた柔軟な個別支援プログラムを提供。
- ・高齢者等が育てた苗や野菜の無人販売を実施。

### \* 月別活動実績

月	活動回数		活動者数(延べ)		活動補助者数(延べ)		活動内容
	回	前年比	人	前年比	人	前年比	
4月	10	10	0	0	10	5	苗づくり、植え付け準備
5月	10	4	12	△4	7	6	マルチはがし、植え付け
6月	5	△1	9	△3	3	3	収穫、除草
7月	13	3	22	8	8	0	
8月	18	2	20	△3	12	4	直売所実施、除草、苗植え付け、マルチはがし
9月	14	5	8	△3	13	4	直売所実施、除草
10月	11	△5	25	△5	5	△3	直売所実施、収穫体験
11月	17	1	34	5	9	△1	直売所実施、食の文化祭収穫体験、除草、追肥、野菜収穫
12月	4	△1	9	3	1	△3	直売所実施
1月	0	0	0	0	0	0	野菜出荷準備、種まき準備
2月	1	△3	0	0	1	△3	種まき準備、種まき
3月	3	0	0	0	3	△1	畑の耕起準備・マルチ張り
年間数(計)	106	15	139	△2	72	11	
月平均	8.8		11.6		6.0		
5年度	91	(7.6回)	141	(11.8人)	61	(5.1人)	



【収穫した野菜をデイの昼食の食材として活用】



【無人販売も定着し毎回大盛況】

8) 県社協委託事業関係

①日常生活自立支援(福祉サービス利用援助)事業

\* 実施内容

- ・福祉サービス等の利用に関する情報提供や相談、申し込み手続きや契約等の支援
- ・日常的な金銭(医療費、福祉サービス利用料、公共料金等の支払 等)の管理
- ・金融機関の貸金庫での重要書類等の預かり(証書、権利書、印鑑等)の保管

\* 対象者

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者、その他

\* 実利用者数            2名    (R7.3.31現在    内訳:認知症高齢者2名)

\* 月別実績

月	実利用人数		相談援助件数		新規契約数	契約終了数	契約終了の理由
	人	前年度	件	前年度	件	件	
4月	4	3	6	11	1		
5月	4	3	4	13			
6月	4	3	4	8			
7月	3	3	4	8		1	本人死亡
8月	3	3	3	6			
9月	3	2	3	8			
10月	3	2	3	5			
11月	2	2	4	5		1	成年後見へ移行
12月	2	3	2	4			
1月	2	2	2	5			
2月	2	2	2	5			
3月	2	3	3	7			
年間数(延べ)	34	31	40	85	1	2	
月平均	2.8	2.6	3.3	7.1			
増減数	3人(月:0.2人)		△45回(月:△3.8回)		△1	0	

②生活福祉資金貸付事業

\* 実施内容

- ・生活の安定と経済的自立を図ることを目的とした資金の貸付および相談援助
- ・資金の返済に係る相談支援や関係機関との連絡調整

\* 対象者

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯

(資金の貸付にあわせて必要な支援を受けることにより独立自活できると認められる世帯)

\* 実利用者数 5名 (コロナ特例貸付)

\* 支援実績

(件数)

	本則貸付				コロナ特例貸付
	総合支援資金	福祉資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金	
借入相談					
貸付中相談					
受付審査					
償還業務					22
世帯調査					
関係機関との連携					
事業説明等問い合わせ					
その他					
計	0	0	0	0	22

\* 支援業務内訳

No.	支援内容	支援件数(延べ)	備考
1	償還免除	0件	
2	送還支払猶予	0件	
3	償還手続き	0件	
4	償還相談	0件	
5	未応答または償還困難な借受人に対するアウトリーチ	6件	
6	償還免除者に対するアウトリーチ	1件	
7	借受人(償還免除者含む)の生活状況の把握	10件	
8	生活再建に向けた支援制度・自立相談支援機関等関係機関へのつなぎ	3件	
9	郵送不能者の現地状況確認	2件	
	計	22件	

## II 介護保険事業

### 1. 指定訪問介護事業所(ホームヘルプ事業)

#### 《基本方針》

ご利用者様が可能な限り住み慣れた地域や自宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう生活全般にわたる援助を提供する。また、関係機関等との密接な連携を図りながら、ご利用者様の要介護状態の軽減や悪化の防止に努める。

#### 《 目 標 》

##### 1)他職種との連携を図りながらサービスの提供

ご利用者様の在宅生活の充実を図るため、他職種や関係機関等との連携を密に行い、より良いサービスの提供に努めた。

##### 2)連携による切れ目のないサービスの提供

介護保険等制度の枠を超えた生活課題を抱える利用者様に対し、制度の狭間に陥らないよう適切な情報提供を行うとともに、必要なサービスに繋がられるよう重層的な支援を行った。

##### 3)職員の資質向上と人材の確保

多岐にわたるご利用者様のニーズに的確に対応するため、積極的な研修会への参加、職場内研修や自主学習を実施し、専門性の高いサービスが提供できるよう、職員の資質向上に努める。また、継続的に安定したサービスの提供を行えるよう、人材の確保に努めた。

#### 《 事業実績 》

実利用件数	訪問介護事業（介護）	226件／年（平均：18.8件/月）
	居宅介護事業（障害）	26件／年（平均：2.0件/月）
延べ派遣回数	訪問介護事業（介護）	1,965回／年（平均：163.8回/月）
	居宅介護事業（障害）	458回／年（平均：38.2回/月）

#### ※ 一人あたりの利用状況

訪問介護事業（介護）	8.7回/月
居宅介護事業（障害）	17.6回/月

\*令和6年度目標：

訪 問 介 護	24件/月	18回/月	年間（延べ）252件/年	3,312回/年
居宅介護事業（障害）	3件/月	15回/月	年間（延べ）36件/年	540回/年

【利用者数:介護保険事業】

月	実利用者数		派遣回数(延べ)		平均利用回数/月		平均介護度		備考
	人	前年比(人)	回	前年比(回)	回	前年比(回)		前年比	
4月	17	△ 7	152	△ 118	8.9	△ 2.3	2.3	△ 0.3	
5月	19	△ 2	182	△ 106	9.6	△ 4.1	2.4	△ 0.3	
6月	18	△ 6	188	△ 87	10.4	△ 1.0	2.9	0.2	
7月	18	△ 3	204	△ 31	11.3	0.1	2.9	0.3	
8月	18	△ 3	206	△ 13	11.4	1.0	3.5	0.9	
9月	17	△ 3	148	△ 63	8.7	△ 1.8	3.7	1.2	
10月	17	△ 2	150	△ 65	8.8	△ 2.5	3.2	0.7	
11月	17	△ 1	132	△ 40	7.8	△ 1.8	3.0	0.3	
12月	20	4	164	4	8.2	△ 1.8	2.7	△ 0.3	
1月	23	6	174	14	7.6	△ 1.8	2.5	0.0	
2月	22	5	149	△ 22	6.8	△ 3.3	2.0	△ 0.9	
3月	20	4	116	△ 42	5.8	△ 4.1	1.9	△ 0.7	
年間数(計)	226	△ 8	1,965	△ 569	8.7	△ 2.0	2.8	0.2	
(5年度)	234		2,534		10.7		2.6		

【介護度別利用者数】

(人)

月	実人数	事業対象者	要支援		要介護				
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	17	4	1	2	5	2	0	1	2
5月	19	4	1	2	5	2	0	2	3
6月	18	4	1	2	4	2	0	3	2
7月	18	4	1	2	3	2	1	3	2
8月	18	6	0	2	3	1	1	3	2
9月	17	6	0	2	2	1	1	3	2
10月	17	5	0	2	3	0	2	3	2
11月	17	5	0	3	4	0	2	2	1
12月	20	5	2	3	4	1	2	2	1
1月	23	6	2	4	4	2	2	1	2
2月	22	6	1	5	4	2	3	0	1
3月	20	6	1	4	3	3	2	0	1
合計	226	61	10	33	44	18	16	23	21
割合(%)	100.0	27.0	4.4	14.6	19.5	8.0	7.1	10.2	9.3
(5年度割合)	100	15.4	7.7	13.2	21.8	16.7	3.0	13.7	8.5

【居宅介護事業利用者数(障害)】

月	実利用者数		派遣回数(延べ)		平均利用回数/月		備考
	人	前年比(人)	回	前年比(回)	回	前年度(回)	
4月	3	0	45	△ 8	15.0	△ 2.7	
5月	3	0	45	△ 13	15.0	△ 4.3	
6月	3	0	41	△ 16	13.7	△ 5.3	
7月	3	0	44	△ 11	14.7	△ 3.7	
8月	2	△ 1	44	△ 9	22.0	4.3	
9月	2	△ 1	41	△ 5	20.5	5.2	
10月	2	△ 1	41	△ 9	20.5	3.8	
11月	2	△ 1	36	△ 12	18.0	2.0	
12月	2	△ 1	41	△ 5	20.5	5.2	
1月	2	△ 1	34	△ 11	17.0	2.0	
2月	1	△ 2	22	△ 16	22.0	9.3	
3月	1	△ 2	24	△ 18	24.0	10.0	
年間数(計)	26	△ 10	458	△ 133	17.6	1.2	
(5年度)	36		591		16.4		

【研修等開催・参加状況】

(外部研修)

日 時	内 容	参加者数	備考
6月6日	福井県ホームヘルプサービス事業者協議会理事会	1名	県社協
7月10日	お風呂問題検討会	1名	鯖江市役所
9月26日	福井県内社協職員協議会職員研修会	1名	AOSSA
10月22日	発達障がい児者の理解と支援	2名	神明公民館
11月26日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集	1名	織協ビル
9月25日～ 11月29日	介護福祉士基本研修	1名	オンライン
2月6日	こころの病気をもちの方の声から	3名	〃
3月6日	こころの健康づくり研修会(ゲートキーパー養成講座)	2名	ほっとプラザ

(内部研修)

日 時	内 容	参加者数	備考
4月22日	事例検討	9名	
5月27日	各委員会からの報告・事例検討	9名	
6月24日	食中毒・熱中症対策、事例検討	9名	
7月29日	事例検討	9名	
8月9日	個浴での入浴介助方法(デイ・ヘルプ合同研修)	6名	外部講師依頼
9月30日	ストレスチェック、事例検討	9名	
10月7日	介護用洗身用具体験会(デイ・ヘルプ合同研修)	9名	外部講師依頼
11月11日	調理実習	6名	外部講師依頼
3月24日	研修計画、仕事内容可否検証、事例検討	9名	

(ハラスメント防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月21日	年間予定の検討	1名	
10月17日	事業所内研修、アンケートと報告	3名	

(虐待防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月29日	辞令交付、正副委員長選出、研修について	3名	
9月12日	要介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修	1名	すこやかシルバー病院
9月24日	事例検討、研修報告、バーンアウト尺度	3名	

(BCP・感染症対策防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月22日	業務継続計画の見直し、訓練について	1名	
11月25日	業務継続初動連絡訓練	2名	
2月18日	研修報告、原子力災害時避難計画について	2名	

(福井県ホームヘルプサービス事業者協議会)

日 時	内 容	参加者	
6月6日	第1回理事会	1名	県社協
7月16日	総会、情報交換会	1名	アイアイ鯖江
11月12日	第2回理事会	1名	県社協

## 2. 指定居宅介護支援事業所(居宅介護支援事業)

### 《基本方針》

介護保険の基本理念「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択(自己決定)」に基づき、ご利用者様の意志及び人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立ちその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う。また、介護サービス事業所に対しては公正・中立を守り、総合的かつ効率的にサービスの提供を求めながらご利用者様の在宅生活を維持できるよう支援を行った。

### 《 目 標 》

#### 1)信頼関係の構築

ご利用者様やご家族様との信頼関係を得るために積極的なコミュニケーションを図った。

#### 2)利用者の立場に立つ

常にご利用者様の立場に立ち、対応することに努めた。

#### 3)情報提供の実施

ご利用者様、ご家族様が必要とする介護保険制度やサービスの適切な情報提供を行った。

#### 4)解決すべき問題の把握

ご利用者様やご家族様が抱える課題を正確に捉え、課題解決に向けたサービスが提供できるよう留意し、丁寧なアセスメントを行った。

#### 5)サービス実施状況の把握及び評価

定期的なモニタリングを実施し、状況を適切に評価すると共に、適切なサービスが提供できるよう関係機関等との連携を図った。

#### 6)介護支援専門員の資質・専門性の向上

専門研修への積極的な参加を行い、専門職としての資質の向上に務めた。

### 《 事業実績 》

利用件数      69.9件/月(平均)      年間(延べ)      837.5件

\* 令和6年度目標： 65件/月、 年間延べ 780件

※ ケアマネ一人あたりの受持人数  
訪問介護事業(介護) 23.5件/月

\* 月別実績

月	石丸担当			江端担当			廣田和担当			備考
	実績件数(件)			実績件数(件)			実績件数(件)			
	介護	総合事業	計	介護	総合事業	計	介護	総合事業	計	
4月	38	1	39	28	0.5	28.5	3	0	3	
5月	39	1	40	27	0.5	27.5	2	0.5	2.5	
6月	35	1	36	29	0.5	29.5	3	0.5	3.5	
7月	38	0.5	38.5	30	0.5	30.5	4	0	4	
8月	35	1	36	30	0.5	30.5	4	0	4	
9月	33	1	34	26	0.5	26.5	4	0	4	
10月	35	1.5	36.5	28	0.5	28.5	3	0	3	
11月	36	1.5	37.5	33	0.5	33.5	4	0	4	
12月	36	1.5	37.5	32	0.5	32.5	4	0	4	
1月	35	1.5	36.5	28	0.5	28.5	4	0	4	
2月	59	2	61	0	0	0	7	0	7	
3月	57	2	59	0	0	0	7	0	7	
年間数(計)	476	15.5	491.5	291	5	296	49	1	50	
月平均	39.7	1.3	41.0	24.3	0.4	24.7	4.1	0.1	4.2	
(5年度)	38.5件			34.6件			4.2件			

\* 総合事業は、1人を0.5と換算する

総計	837.5件	月平均件数 69.9件
	(5年度 927.5件)	(5年度 77.3件)

【研修等開催・参加状況】

(外部研修)

日時	内容	出席者
5月27日	認知症のある方の意思決定支援	江端
11月20日	支持的構造的スーパービジョン～実践の展開と方法～	石丸
11月21日	福祉現場における災害福祉支援力強化セミナー	石丸
11月26日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	石丸
12月11日	福祉サービス苦情解決機能強化セミナー	石丸
R7 3月5日	自立支援型地域ケア会議	石丸・廣田

(内部研修)

日時	内容	出席者
6月14日	介護支援専門員勉強会(事例検討)	石丸・江端・廣田

(ハラスメント防止委員会)

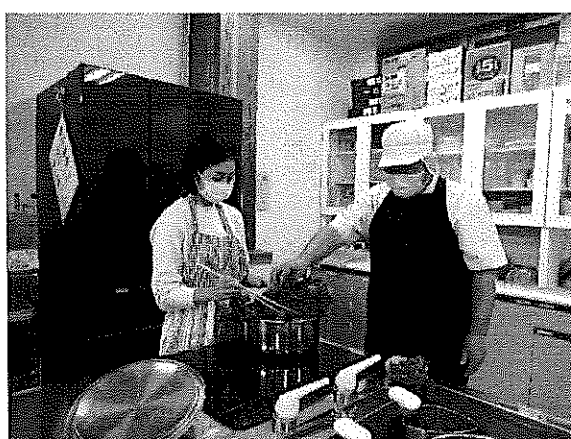
日 時	内 容	参加者	
5月21日	年間予定の検討	1名	
10月17日	事業所内研修、アンケートと報告	1名	

(虐待防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月29日	辞令交付、正副委員長選出、研修について	1名	
9月12日	要介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修	1名	すこやかシルバー病院
9月24日	事例検討、研修報告、バーンアウト尺度	1名	

(BCP・感染症対策防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月22日	業務継続計画の見直し、訓練について	1名	
11月25日	業務継続初動連絡訓練	1名	
2月11日	BCP研修	1名	オンラインセミナー



【ヘルパー勉強会の様子(左:介護用洗身用具 右:外部講師による腎臓病に配慮した調理実習)】



【在宅介護者の集いでは、介護相談や介護講座にケアマネも参加】

### 3. ほっとプラザデイサービスセンター(通所介護事業)

#### 《基本方針》

ご利用者様一人ひとりの意思や人格を尊重するとともに、ご本人の有する力や可能性を発揮しながら、日常生活を安心して過ごしていただけるよう保健、医療、福祉のサービスが連携を図り自立した日常生活および安心した暮らしを営めるよう在宅生活を支援していく。また、ご利用者様を支えるご家族の身体的・精神的負担の軽減を図りながら、安心して過ごせる在宅生活の支援を行った。

#### 《 目 標 》

##### 1)健康管理の充実

ご利用者様の体調の変化をいち早く察知し、口腔ケアの充実を図った。

##### 2)食のQOLの向上

ご利用者様一人ひとりに応じた食に対する質の向上を図った。

##### 3)安定した利用者数の確保

年間を通じ、安定したご利用につながるよう、ご利用者様やご家族の個々の状況に応じた送迎等の工夫を図った。

##### 4)職員のスキルアップ

研修の形を模索しながらより専門性の高いサービスを提供できるよう、職員のスキルアップを図った。

##### 5)地域の特性を活かしたネットワーク作り

ご利用者様を中心にした地域での暮らしを支えるため、地域の特性を活かした見守り・支援のネットワークづくりを図った。

#### 《 事業実績 》

営業日数	256日
実利用者数	803人
延べ利用者数	6,689人 (平均:26.1人/日)

※ 一人あたりの利用状況 8.3回/月

\* 令和6年度目標：営業日20日/月にて算定

通所介護	21人/日	年間(延べ)	5,040人
総合事業(予防)	6人/日	年間(延べ)	1,440人
計	27人/日	年間(延べ)	6,480人

【利用者数】

月	営業日数		延べ利用者数		平均利用者数/日		平均介護度		朝食サービス提供数
	日	前年比(日)	人	前年比(人)	人	前年比(人)		前年比	
4月	22	2	608	149	27.6	4.6	2.1	0.3	0
5月	23	0	630	72	27.4	3.1	2.1	0.3	0
6月	20	△ 2	532	49	26.6	4.6	2.0	0.1	0
7月	23	3	618	69	26.9	△ 0.6	2.0	0.1	0
8月	22	△ 1	568	△ 32	25.8	△ 0.3	2.0	0.0	0
9月	21	0	538	△ 11	25.6	△ 0.8	2.0	0.0	0
10月	23	1	607	26	26.4	1.0	2.0	0.0	0
11月	21	△ 1	559	0	26.6	△ 0.8	1.9	0.1	0
12月	20	0	514	△ 34	25.7	0.2	1.9	0.0	0
1月	20	0	519	10	26.0	0.8	1.9	0.0	0
2月	20	△ 1	464	△ 65	23.2	△ 2.0	1.9	0.0	0
3月	21	0	532	△ 10	25.3	△ 0.5	1.9	△ 0.1	0
年間数(計)	256	1	6,689	223	26.1	0.7	2.0	0.1	0
(5年度)	255		6,466		25.4		1.9		130

\* 休業日・・・年末年始(12/29～1/3)、土・日曜日

【介護度別利用者数】

(人)

月	実人数	総合事業	要支援		要介護				
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	72	7	7	6	24	12	6	7	3
5月	68	7	7	5	22	12	6	7	2
6月	65	6	7	6	22	12	6	4	2
7月	66	6	6	7	23	12	6	4	2
8月	66	5	7	8	21	12	6	5	2
9月	68	5	7	7	22	12	8	5	2
10月	67	4	7	6	24	11	8	5	2
11月	66	4	6	6	25	11	8	5	1
12月	67	5	8	6	24	11	7	5	1
1月	67	5	7	8	21	11	9	4	2
2月	63	4	4	8	21	12	8	4	2
3月	68	4	7	9	20	13	10	4	1
合計	803	62	80	82	269	141	88	59	22
割合(%)	100.0	7.7	10.0	10.2	33.5	17.6	11.0	7.3	2.7
(5年度)	100	8.4	7.3	13.5	33.4	17.6	5.8	11.6	2.5

【主な行事】

	活動内容		活動内容
4月	お花見	10月	運動会
5月	ボーリング大会	11月	避難訓練(14日)、米寿のお祝い会(21日)
6月	法話(13日)、避難訓練(19日)	12月	クリスマス行事食
7月	ミニ縁日	1月	お正月遊び
8月	懐かしの映像鑑賞	2月	ボードゲーム
9月	輪投げ大会	3月	お楽しみ会

\* ご利用者様お誕生会(毎月実施)

【研修等開催・参加状況】

(外部研修)

日 時	内 容	参加者数	備考
6月	「怒り」のある方への対応研修	2名	すこやかシルバー病院
7月	レクリエーション研修	2名	〃
	デイ協 送迎安全運行研修	3名	Web研修
9月	介護職員のメンタルヘルスパーンアウト研修	2名	すこやかシルバー病院
	「回想法」研修	1名	〃
9月26日	福井県内社協職員協議会職員研修会	1名	AOSSA
11月26日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集	2名	織協ビル
2月	食中毒研修	2名	Web研修

(内部研修)

日 時	内 容	参加者数	備考
8月9日	個浴での入浴介助方法(デイ・ヘルプ合同研修)	6名	外部講師依頼
10月7日	介護用洗身用具体験会(デイ・ヘルプ合同研修)	9名	外部講師依頼
3月6日	こころの健康づくり研修会(ゲートキーパー養成講座)	2名	ほっとプラザ

(ハラスメント防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月21日	年間予定の検討	2名	
10月17日	事業所内研修、アンケートと報告	0名	

(虐待防止委員会)

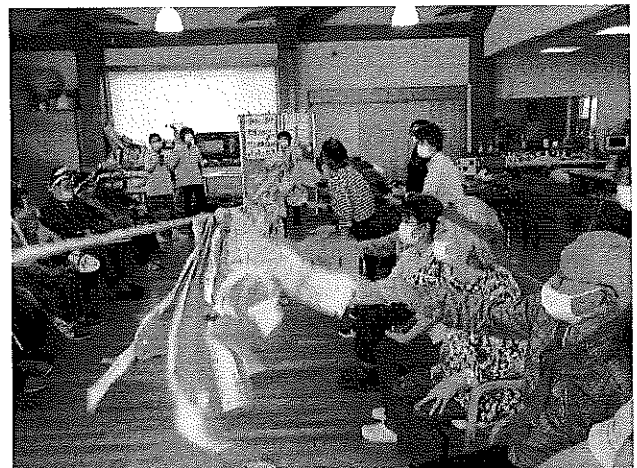
日 時	内 容	参加者	
5月29日	辞令交付、正副委員長選出、研修について	4名	
9月24日	事例検討、研修報告、パーンアウト尺度	2名	

(BCP・感染症対策防止委員会)

日 時	内 容	参加者	
5月22日	業務継続計画の見直し、訓練について	3名	
11月25日	業務継続初動連絡訓練	6名	
2月18日	研修報告、原子力災害時避難計画について	1名	



【米寿のお祝い会の様子】



【2チームに分かれて競争(運動会)】